

令和5年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策 体系	分 野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施 策	26 交通安全 ー交通事故のない、安全なまちを目指しますー		
重点プロジェクト				
主 管 課	都市政策部 道路課	評価責任者	山風呂 敏	
		評価日	令和6年6月1日	
関 連 課	学校教育課			
目 標	事故死者数に占める高齢者の割合が高いことや自転車による交通事故が多いことなどを踏まえ、更なる交通安全対策を進めます。また、円滑な通行の妨げとなる放置自転車の解消に向けた取組を引き続き実施します。			
施策目標の実現 に向けた取組	（１）交通安全意識の醸成 ○交通安全の啓発、交通マナーの向上を促進します。 ○スケアード・ストレート教育技法による交通安全教室など、より効果の高い交通安全教育を推進します。 （２）生活道路の安全対策の推進 ○「ゾーン30」など、生活道路における交通安全対策を推進します。 ○安全な自転車通行環境の整備を推進します。 （３）交通安全施設の適切な維持管理 ○交通安全施設の適切な維持管理、修繕を実施します。 （４）放置自転車の解消 ○放置自転車禁止区域における放置自転車の解消を図ります。			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	自転車事故による負傷者数					
		説明	自転車事故による負傷者数の減少に向けて、警察及び各種団体と啓発活動を実施している。また、交通安全対策として、交通安全施設の修繕及び設置工事を実施した結果、目標を達成した。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	164	159	154	149	144	139
		実績値	105	81	61	83	67	64
	指標2	指標名	ゾーン30の指定箇所数					
		説明	市内の住宅密集地に県警と協力して最高速度を30km/hに規制する区域を指定し目標を達成した。					
		単位	区域					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	5	5	5	5	5	5
		実績値	5	5	5	5	5	5
	指標3	指標名	放置自転車禁止区域における放置自転車撤去台数					
		説明	駅周辺に放置された放置自転車を撤去することによって、放置自転車禁止区域の周知が図られたため、放置自転車撤去台数の減少につながり目標を達成した。					
		単位	台					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	838	797	757	719	683	649
		実績値	727	653	339	552	447	374
	指標4	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標5	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	163,809	122,189	117,331	123,184	137,462	138,673
	人件費	28,781	28,578	42,367	41,622	41,912	42,279
収入	特定財源	8,162	8,581	9,316	8,670	900	1,175
	一般財源	184,428	142,186	150,382	156,136	178,474	179,777

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	交通安全広報活動の実施及び交通安全施設の維持管理	自転車事故による負傷者数の減少に向けて、埼玉県警察及び各種団体と啓発活動を実施した。また、交通安全対策として、交通安全施設の修繕及び設置を実施した。	市役所窓口や交通安全街頭活動などで、交通安全運動の啓発品を配布し、市役所周辺道路にのぼり旗の設置を行った。主な交通安全施設の修繕及び設置の内訳は、道路反射鏡修繕を42箇所、防護柵修繕を38箇所実施し、自転車事故等の防止を図った。	交通安全推進事業（一部）
取組②	ゾーン30の設置	ゾーン30区域指定した箇所の交通安全施設の維持管理を実施した。市民に向けてゾーン30についての周知・広報活動を行った。駒西地区において、短期的対策とされているスムーズ横断歩道の実証実験を実施した。	ゾーン30指定区域内の交通安全施設の維持管理を行い、また市民への周知を図ったことにより、ゾーン30指定区域内における重大事故は発生しなかった。スムーズ横断歩道の実証実験から、速度抑制効果ならびに地域からの一定の理解を得ることができた。	交通安全推進事業（一部）
取組③	放置自転車禁止区域内の自転車撤去及び市営自転車駐車場の管理運営	上福岡駅及びふじみ野駅周辺に放置された放置自転車の撤去作業を実施した。指定管理者による自転車駐車場の管理運営に係る管理指導を実施した。安定的な経営及び、民業への圧迫解消のため、利用料金の見直しと、苗間第1・第2自転車駐車場の統合を図った。	放置自転車撤去は、上福岡駅周辺は172日、ふじみ野駅周辺は36日、合計208日実施した。利用料金の見直しと、苗間自転車駐車場の統合について、議会の承認を経て、条例・要綱の見直しを行った。	自転車対策事業 自転車駐車場管理運営事業
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	交通安全広報活動を通じて交通安全意識の向上を図った。交通安全施設の修繕等の実施により自転車事故による負傷者数は減少している。また、自転車利用者への安全対策として、県西部では初となる自転車ネットワーク計画を策定し、この計画に基づき、幹線1号について、自転車通行空間路面標示設置工事を実施した。市内の駅周辺の放置自転車撤去作業を実施することにより、放置自転車禁止区域の周知が図られ、放置自転車撤去台数の減少に寄与した。駒西地区の交通安全対策として、短期的対策とされているスムーズ横断歩道の実証実験を実施し、速度抑制効果ならびに、地域からの一定の理解を得ることができた。新型コロナウイルスの感染症拡大防止による自転車の利用形態に変化が生じたことなど時代の変化に対応し、市営自転車駐車場の安定的な経営及び、民業への圧迫を解消するため、市営自転車駐車場の利用料金の見直しと、苗間第1・第2自転車駐車場の統合を図り、議会の承認を経て条例・要綱の見直しを行った。
順調	
行政資源の活用	
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		交通安全推進事業	前年度の方向性	
			継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	26 交通安全 ―交通事故のない、安全なまちを目指します―		
予算費目		一般会計 08土木費 01土木管理費 02交通安全対策費		
所管部課		都市政策部 道路課	評価責任者	宮崎 光隆
事務事業期間		平成21年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		・道路交通法 ・ふじみ野市自転車の安全な利用の促進に関する条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	交通安全対策を推進し、安全な環境の構築を図ることを目的としている。		
	事務事業の経緯	平成25年に、自転車による交通死傷事故が県下ワースト1となったことから、その対策として市内に「ゾーン30」区域の指定を行っている。併せて、交通安全施設の修繕設置工事を実施している。 「ふじみ野市自転車の安全な利用の促進に関する条例」を平成28年10月1日施行した。		
	事務事業の概要	安全な道路交通環境を形成し、交通事故を未然に防止するため、道路照明灯や道路反射鏡などの交通安全施設や路面標示などによる交通安全対策を推進する。 また、ふじみ野市は通勤・通学などで自転車を利用される市民が多く、また自転車事故による死傷者数については県内で上位に位置していることから、県西部では初となる自転車ネットワーク計画を策定し、この計画に基づき自転車通行空間路面標示工事を実施している。		
	令和5年度の主な取組	【交通安全施設の維持管理について】 道路照明灯・道路反射鏡・路面標示・防護柵などの交通安全施設の修繕及び新設については、現地確認し、必要性を判断しながら実施した。 【自転車通行空間整備について】 平成30年度に策定した自転車ネットワーク計画に基づき、令和5年度は上福岡駅西口周辺の市道幹線1号線において580mの区間について自転車通行空間路面標示設置工事を実施した。 【ゾーン30プラスについて】 計画案を策定し提出済。「スムーズ横断歩道」の実証実験を実施した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	2.20	2.20	2.40
		人件費	17,523	17,431	19,016
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.20	0.00
		人件費	1,055	1,038	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.36	0.00
		人件費	0	642	0
	人件費計		18,578	19,111	19,016
事業費	報酬※		0	640	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		41,856	40,423	52,677
	委託料		4,395	2,284	2,484
	使用料及び賃借料		18,036	18,036	18,149
	工事請負費		12,649	11,792	24,000
	負担金、補助及び交付金		2,787	11,244	2,811
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		17,559	17,856	20,667
支出合計			115,860	120,744	139,804
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	2,500
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	900	700	2,200
		基金	0	0	0
		その他	0	0	217
	一般財源		114,960	120,044	134,887
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			1,007	1,052	1,149

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	自転車事故による負傷者数の減少		
	説明	自転車事故による負傷者数の減少に向けて、警察及び各種団体と啓発活動を実施している。また、交通安全対策として、交通安全施設の修繕及び設置工事を実施している。		
成果	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	144	80	80
	実績値	67	64	
指標 2	指標名	ゾーン30の設置		
	説明	市内の住宅密集地に県警と協力して、最高速度を30km/hとした区域を指定し、事故防止に努めている。		
成果	単位	区域		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	5	5	5
	実績値	5	5	
指標 3	指標名	加入者		
	説明	交通災害共済への加入者数の拡大を図る。		
成果	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	2,600	2,000	2,000
	実績値	1,859	1,699	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	○交通安全推進事業 - 交通安全施設の設置、修繕 道路反射鏡修繕 42件 防護柵修繕 45件 - 自転車通行空間の整備 580m - 交通災害共済 加入者数 1699人 支払い事務件数 16件 - 令和5年度は、春、夏、秋、冬の「交通安全運動」等において、街頭広報活動を実施し、広く市民に交通安全について周知した。 - ゾーン30については、スムーズ横断歩道の実証実験を行い、効果検証を実施した。令和6年度においては、本格設置をする予定である。 ○効果 - 交通事故の抑制に努めた。
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	交通事故を防止し、市民の安全・安心な暮らしを守るため、引き続き交通安全対策を推進する必要がある。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		自転車対策事業	前年度の方向性	
			継続	
重点プロジェクト				
施策 体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	26 交通安全 ー交通事故のない、安全なまちを目指しますー		
予算費目		一般会計 08土木費 01土木管理費 03自転車対策費		
所管部課		都市政策部 道路課	評価責任者	宮崎 光隆
事務事業期間		平成21年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、ふじみ野市自転車放置防止条例		
事務事業の内容	事務事業の 目的	放置自転車対策の計画立案を行い、安全な通行空間を確保する。		
	事務事業の 経緯	上福岡駅周辺では放置自転車禁止区域を指定していたが、ふじみ野駅西口周辺は放置禁止区域の指定をしておらず放置自転車が多かったため、平成22年10月1日に放置禁止区域の指定を行った。		
	事務事業の 概要	自転車の安全利用、また違法に放置され交通の妨げとなり、交通安全に支障をきたす放置自転車を減らすための施策の立案を行う。 主な取組として、放置自転車禁止区域の自転車撤去を行う。 また、自転車の安全な利用について街頭活動や市報など活用し、啓発を行う。		
	令和5年度の 主な取組	引き続き、放置自転車禁止区域の自転車の撤去を行い、安全な道路環境の確保に努める。令和6年度は、古くなった放置禁止区域の看板修繕を実施した。 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、市営自転車駐車場の利用者の減少や、利用形態に変化が生じている。令和4年に実施した「自転車利用整備基本計画策定に向けた基礎調査」の結果に基づき、市営自転車駐車場の利用料金の見直しと、統廃合について検討し、承認を得ることができた。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.20	1.20	1.60
		人件費	9,558	9,508	12,677
	再任用職員	従事人数(人)	0.40	0.40	0.00
		人件費	2,109	2,076	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計			11,667	11,584	12,677
事業費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		515	625	1,075
	委託料		20,568	15,161	18,793
	使用料及び賃借料		497	124	0
	工事請負費		4,400	6,600	0
	負担金、補助及び交付金		7,495	8,021	8,470
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		277	80	185
支出合計			45,419	42,195	41,200
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	475	1,243
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		45,419	41,720	39,957
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			398	365	340

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	駅周辺の放置自転車撤去台数の削減		
	説明	駅周辺に放置された放置自転車の撤去台数の削減を目指す。		
活動	単位	台		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	689	450	450
	実績値	448	374	
指標 2	指標名	放置自動二輪車の撤去台数の削減。		
	説明	放置自動二輪車の撤去台数ゼロを目指す。		
活動	単位	台		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	3	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	○実施内容 ・ 放置自転車撤去作業 上福岡駅周辺 172日 ふじみ野駅周辺 36日 ・ 延べ撤去台数 上福岡駅周辺 367台 ふじみ野駅周辺 7台 ・ 返還台数 225台 返還率 60.2% ・ 処分台数 133台 ・ 保管所管理 平日 244日 日曜 52日 合計296日 ・ 二輪車等処分台数（原動機付自転車） 3台 ・ 放置自転車回収台数（放置禁止区域外） 32台 ○効果 令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、放置自転車の台数が激減していた。 令和3年度の上半期においては、令和2年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、放置自転車数が激減していたが、下半期においては上福岡駅西口の民間自転車駐車が廃止されたことにより、放置自転車数が増加した。 令和5年度は、令和4年度と比較して減少である。生活スタイルの変化により自転車の利用方法が変化したことや、啓発活動により放置禁止区域が周知されたことによる。

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	今後も駅周辺の安全な道路環境を確保するために、放置自転車ゼロを目指して継続的に事業を行う。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		自転車駐車場管理運営事業		前年度の方向性
				継続
重点プロジェクト				
施策 体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	26 交通安全 ー交通事故のない、安全なまちを目指しますー		
予算費目		一般会計 08土木費 01土木管理費 03自転車対策費		
所管部課		都市政策部 道路課	評価責任者	宮崎 光隆
事務事業期間		平成25年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、ふじみ野市自転車駐車場条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	上福岡駅西口自転車駐車場・サービスセンター自転車駐車場・ふじみ野駅西口の大井陸橋下自転車駐車場・苗間第1自転車駐車場及び苗間第2自転車駐車場を指定管理者により管理運営し、自転車駐車場を確保する。		
	事務事業の経緯	上福岡駅西口自転車駐車場・サービスセンター自転車駐車場・ふじみ野駅西口の大井陸橋自転車駐車場・苗間第1自転車駐車場及び苗間第2自転車駐車場は、平成25年度から指定管理者制度を導入した		
	事務事業の概要	自転車利用者の利便性を確保するとともに、駅周辺の環境整備に資するため、市営自転車駐車場を設置している。管理運営については、指定管理者が行う。 ○市営自転車駐車場 ・上福岡駅西口自転車駐車場・サービスセンター自転車駐車場・大井陸橋下自転車駐車場・苗間第1自転車駐車場・苗間第2自転車駐車場 ○利用料金 ・自転車定期利用：15,000円／年（高校生以下半額）・原付定期利用：25,000円／年（高校生以下半額）・自転車一時利用：100円／回・原付一時利用：200円／回		
	令和5年度の主な取組	令和5年度においても市営自転車駐車場の管理運営を行った。 ・自転車駐車場指定管理者 株式会社 高見沢サイバネティックス ・指定管理者の指定期間 令和2年4月1日から令和6年3月31日 指定管理者の収支改善と民間自転車駐車場からの民業圧迫の解消のために、利用料金の見直しと統廃合をすることについて議会の承認を得た。 令和6年度以降の新たな指定管理者の選定を行った。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.20	1.20	1.60
		人件費	9,558	9,508	12,677
	再任用職員	従事人数(人)	0.40	0.40	0.00
		人件費	2,109	2,076	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計			11,667	11,584	12,677
事業費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		0	0	0
	委託料		0	0	0
	使用料及び賃借料		6,428	6,428	5,283
	工事請負費		0	0	8,000
	負担金、補助及び交付金		0	0	0
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		0	1	1
支出合計			18,095	18,013	25,961
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	7,550
	一般財源		18,095	18,013	18,411
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			159	158	157

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	自転車駐車場収益		
	説明	自転車駐車場管理運営費の収益		
活動	単位	千円		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	6,500	6,500	6,500
	実績値	6,500	6,500	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	○自転車駐車場稼働状況（令和5年度） 自転車定期利用収容台数 稼働率（％） ・上福岡駅西口自転車駐車場 530（530） 100.0 ・大井陸橋下自転車駐車場 403（600） 67.2 ・苗間第1自転車駐車場 84（340） 24.7 ・苗間第2自転車駐車場 363（450） 80.7 ※サービスセンター自転車駐車場は一時利用のみであり定期利用は無し。 （ ）内は、収容可能台数 ○指定管理者の指定状況（今後6年間、過去11年間） ・令和 6年度から令和11年度まで：株式会社高見沢サイバネティックス ・令和 2年度から令和 5年度まで：株式会社高見沢サイバネティックス ・平成30年度から令和元年度まで：日駐研・高見沢共同事業体 ・平成25年度から平成29年度まで：日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	各駅とも民間の自転車駐車場があるが、駅周辺の自転車利用環境を整えるために、引き続き適切な市営自転車駐車場の管理運営を行う必要がある。 令和6年度においては、指定管理者の更新となり利用料金の見直しや、自転車駐車場の統廃合が図られたことから、収支の改善が見込まれる。
中長期的方向性	
継続	